

---

# 京都観光の現状について

---

令和3年9月7日

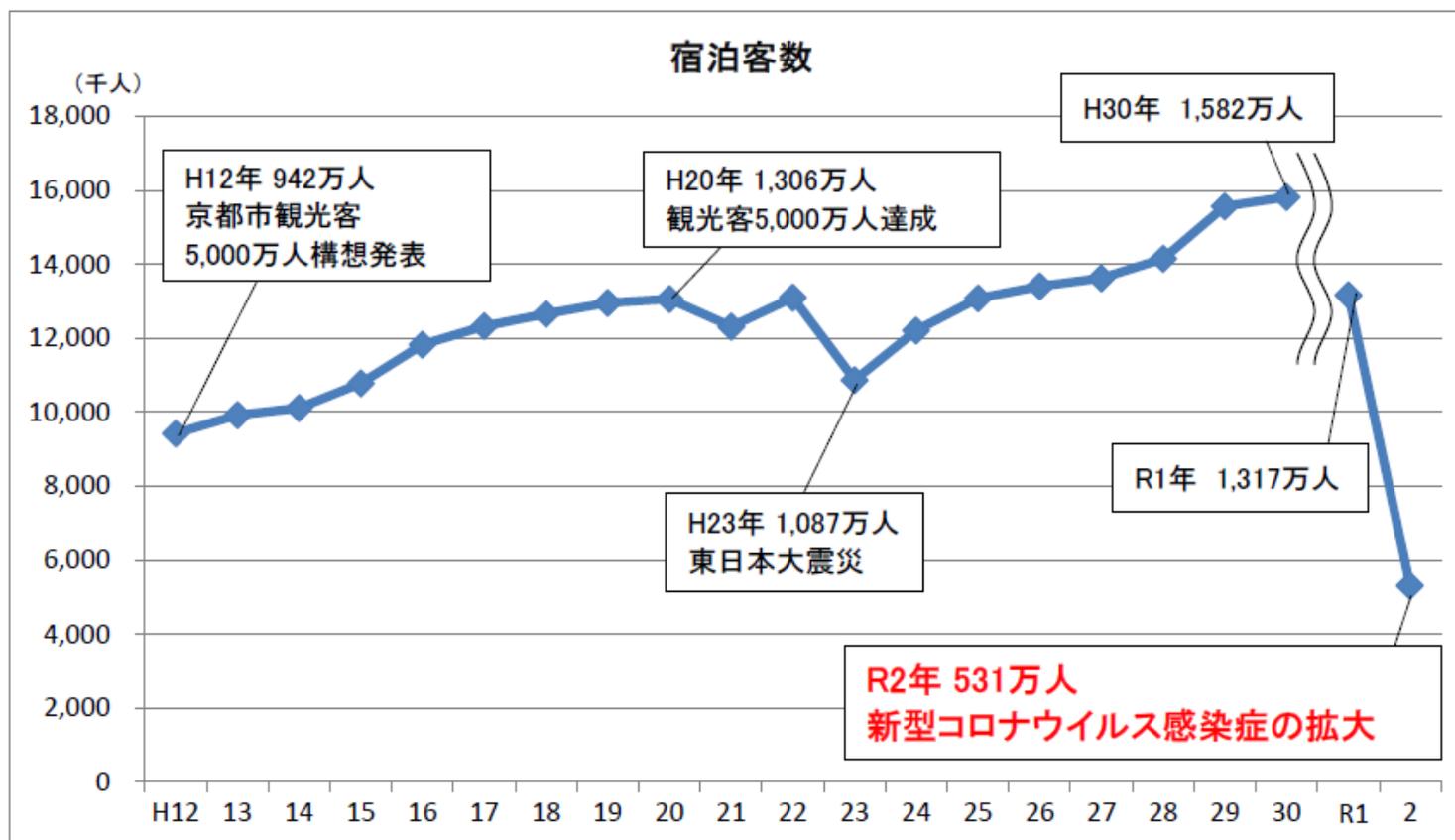


# 京都観光の現状について ～宿泊客数（実人数）～

## ● 令和2年の宿泊客数（実人数）は**531万人（前年比59.7%減）**

感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言下の令和2年5月には前年同月比93.2%減となるなど大幅に減少  
感染症予防・拡大防止対策を徹底した安心して楽しめる「新しい観光スタイル」を推進する中、国のGoToトラベル事業の後押しもあり、11月には前年同月比37.2%減まで回復するが依然として厳しい状況。

※調査手法の変更により、令和元年の数値は平成30年までの数値と時系列による単純比較はできない。



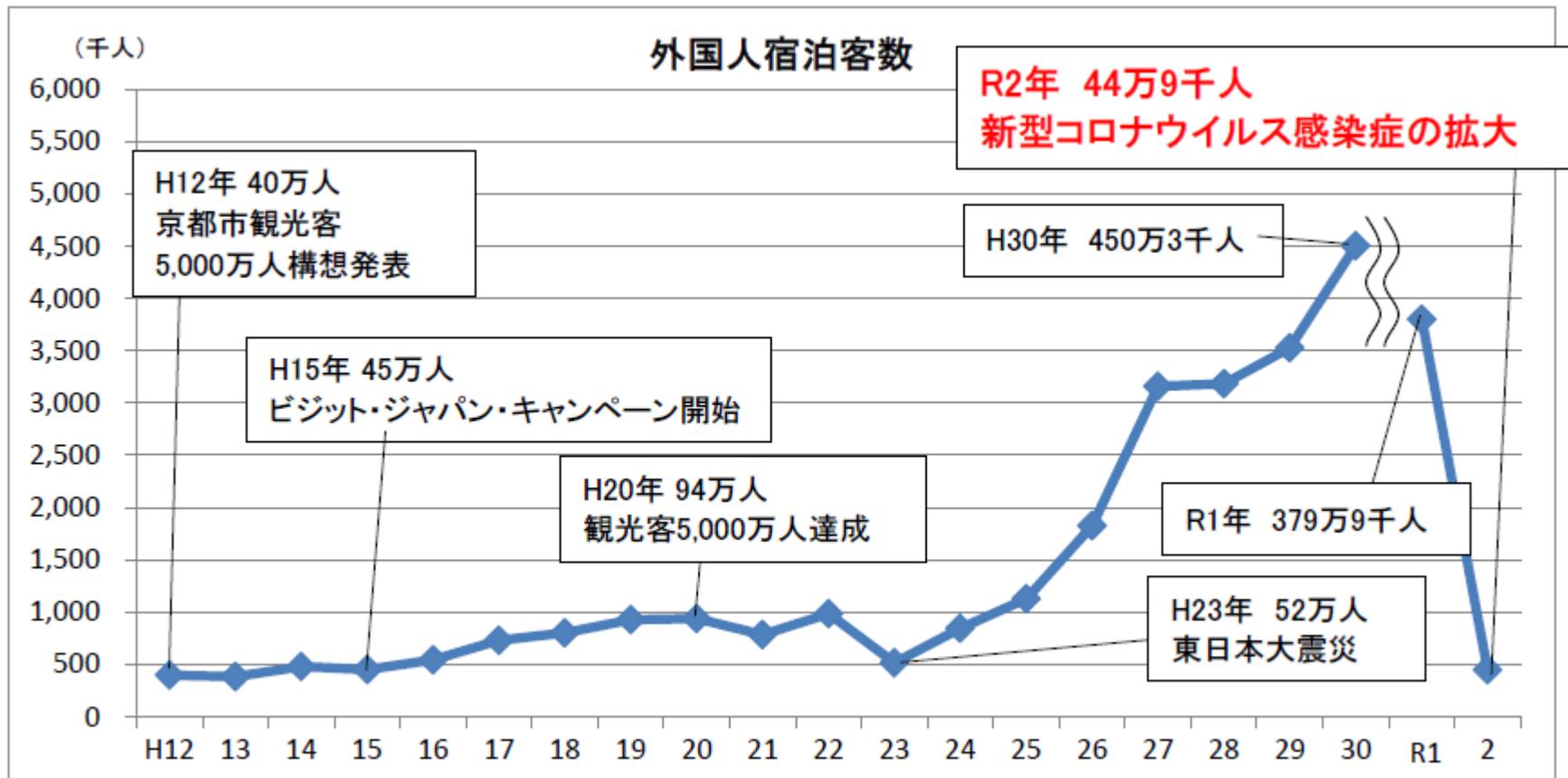
出典：令和2年 観光客の動向に係る調査（京都市）

# 京都観光の現状について ～外国人宿泊客数（実人数）～

- 令和2年の外国人宿泊客数（実人数）は**45万人（前年比88.2%減）**
- 訪日外国人観光客全体（R2:412万人）に占める割合は**10.9%**

感染症の拡大により、令和2年2月以降順次、国の水際対策が強化されたことに伴い減少し、4月以降は、ほぼゼロの状態。

※調査手法の変更により、令和元年の数値は平成30年までの数値と時系列による単純比較はできない。

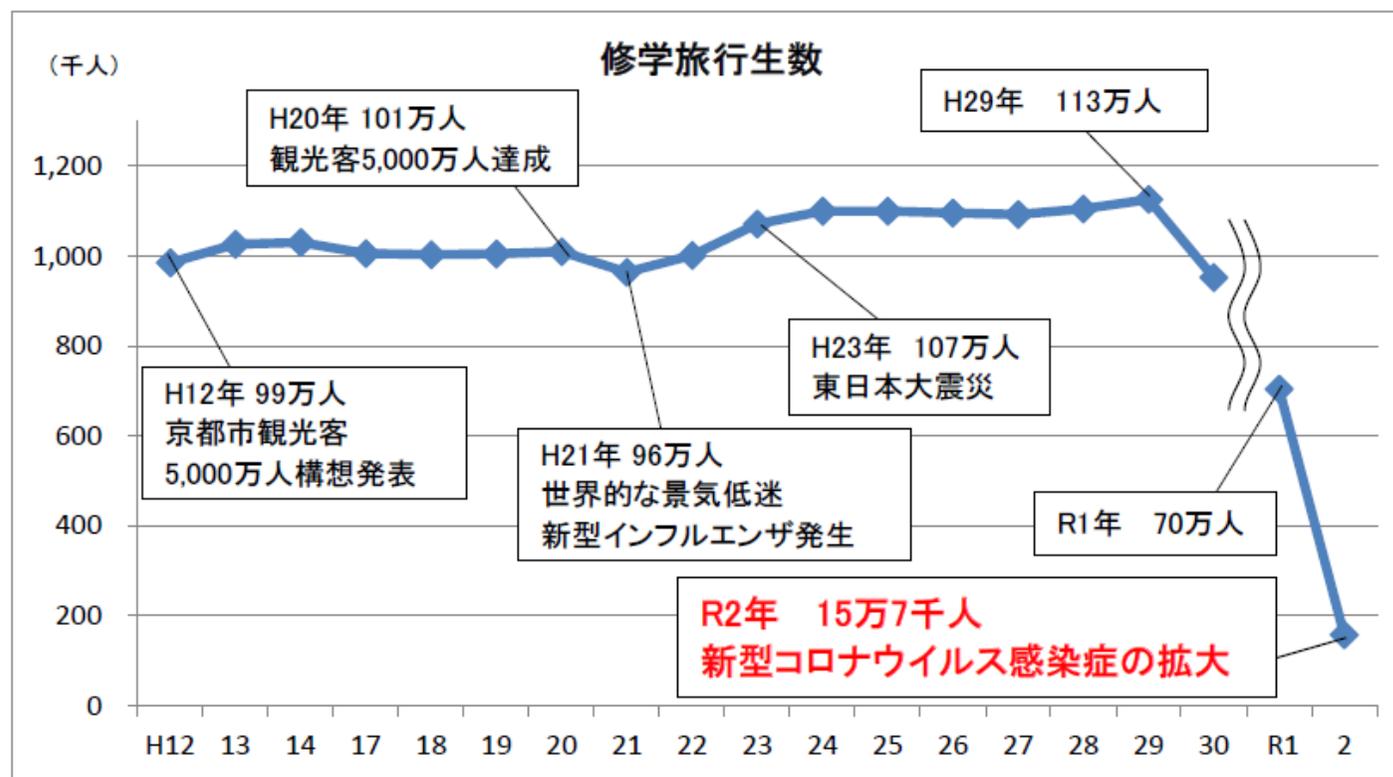


# 京都観光の現状について ～修学旅行生数（宿泊実人数）～

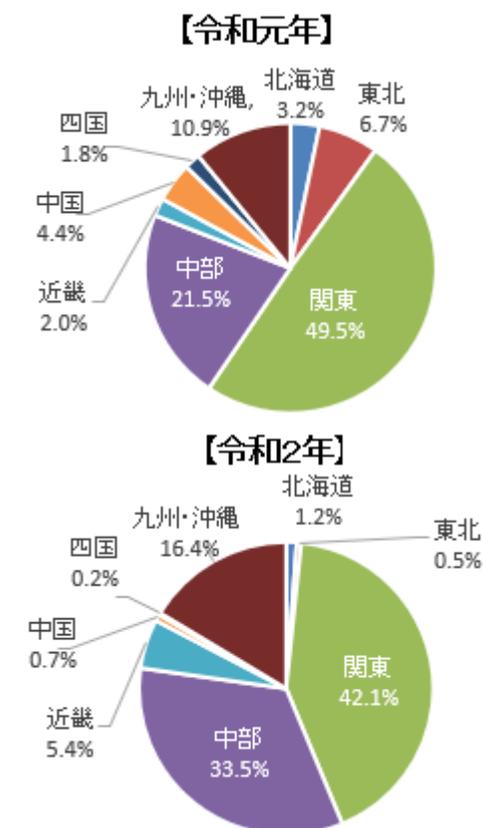
## ● 令和2年の修学旅行生数（宿泊実人数）は**16万人（前年比77.6%減）**

令和2年6月に修学旅行の安心安全対策に係る方針を全国に先駆けて策定し、適切な相談・医療体制など安心して学べる受入環境を整えた結果、前年比77.6%減となるものの16万人にお越しいただいた。

※調査手法の変更により、令和元年の数値は平成30年までの数値と時系列による単純比較はできない。



## 出発地別修学旅行生割合



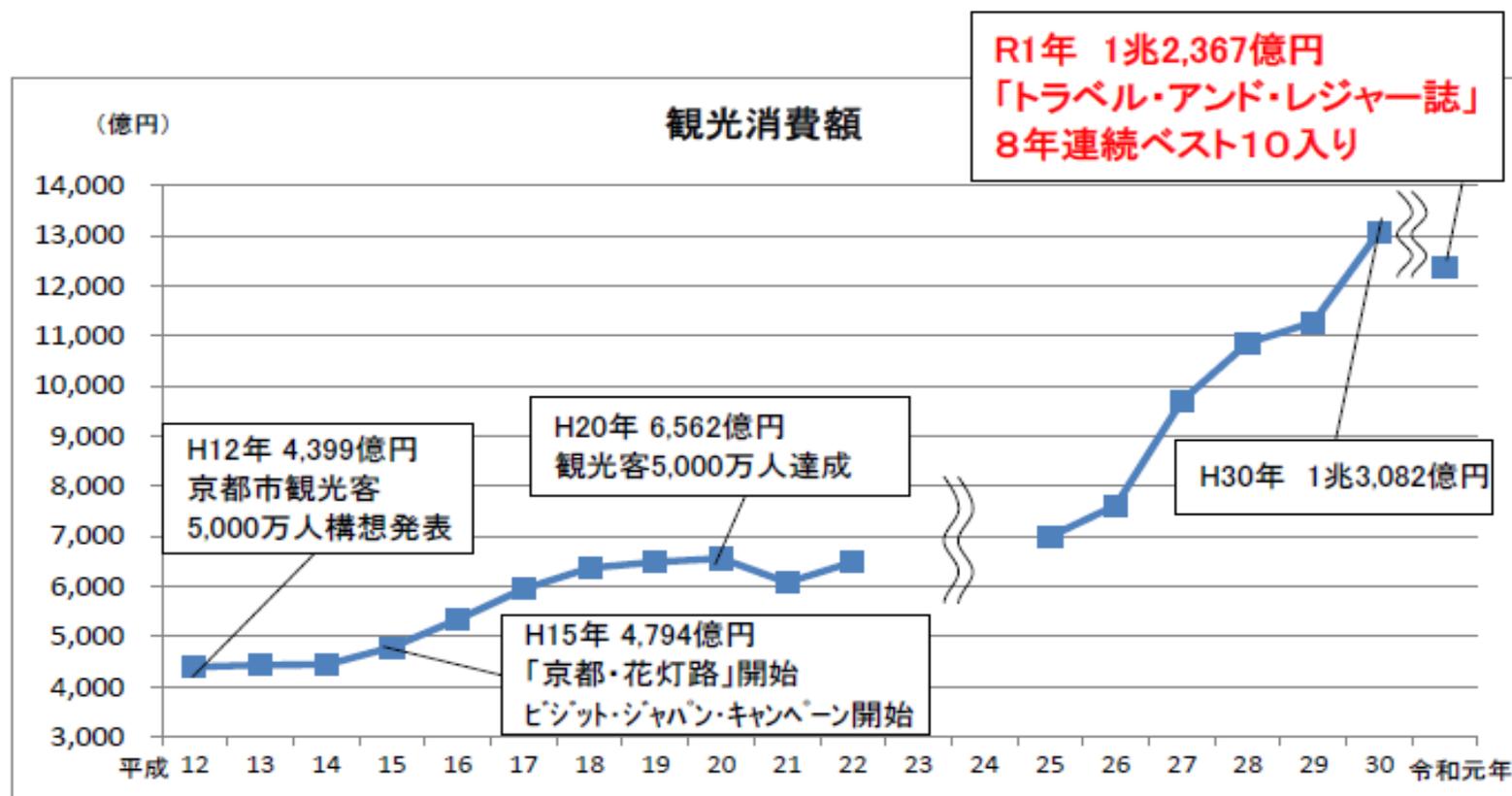
出典：令和2年 観光客の動向に係る調査（京都市）

# 京都観光の現状について ～観光消費額～

- 令和元年の観光消費額は**1兆2,367億円** ※コロナ禍前
- **京都全市民の年間消費支出の約55%（京都市民の約81万人分）**に相当
- **雇用誘発効果15万3千人（市内従業者数の20.7%に相当）**

※ 調査手法の変更により，令和元年の数値は平成30年までの数値と時系列による単純比較はできない。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により，令和2年は調査を行っていない。



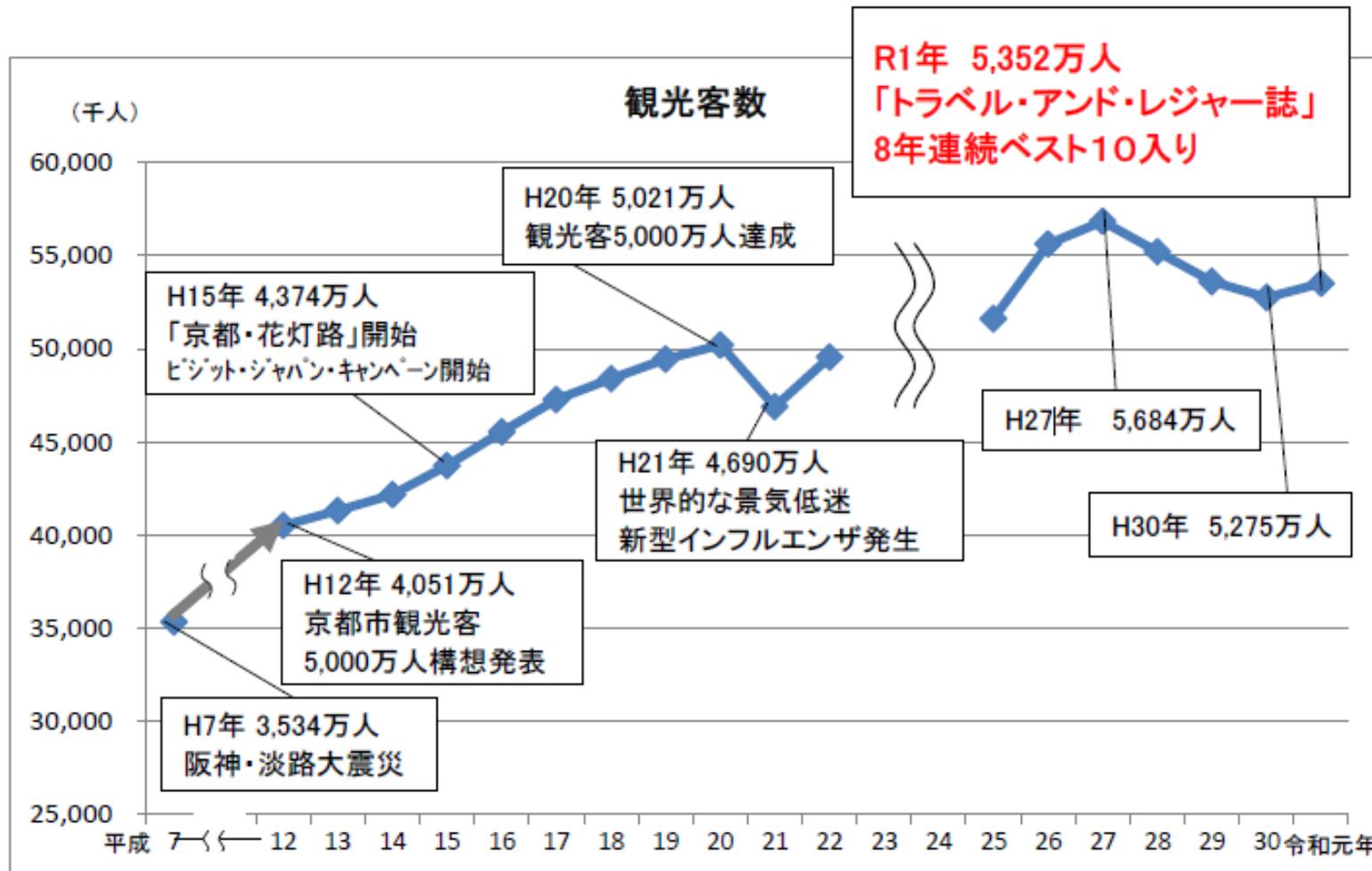
出典：令和元年 京都観光総合調査（京都市）

# 京都観光の現状について ～観光客数～

- 令和元年の観光客数は**5,352万人** ※コロナ禍前
- **4年振りに増加（前年比1.5%増）**，**7年連続5,000万人越え**

※ 平成23年及び平成24年は、調査手法の変更により観光客数を推計していない。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年は調査を行っていない。



出典：令和元年  
京都観光総合調査  
(京都市)

## 京都市内主要ホテル 客室稼働率等の推移



## (1) 令和2年度 一般会計決算の概況

- 令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ結果、**歳入、歳出の規模は過去最大**
- 一般財源収入や施設の使用料収入が減少、社会福祉関連経費の増加等により、**特別の財源対策を行う前の収支は172億円の赤字**

※これまでから、公債償還基金の計画外の取崩しなどの特別の財源対策を行わない収支は赤字状態。こうした状況を今日まで全て公表してきたが、より市民目線に立って分かりやすく発信するため、令和2年度決算から表現を改める。

- 公債償還基金はR3当初予算での取崩しと合わせ、あるべき残高2,203億円のうち、1/3以上の823億円を取り崩している極めて厳しい状況**

